

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別研究（Environmental Information Engineering Studies）		
ナンバリングコード	R40403	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1 年 / 通年
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M522107	クラス名	濱永研究室
担当教員名	濱永 康仁		
履修上の注意、履修条件	社会に貢献できる人材となるために知識や技術だけではなく、人間性も含めた社会性を身に着けることを特別研究を通した目的とする。 室内だけではなく、時には外に出て情報を収集することもあるため、どのような課題が来ても対応できるように心身の準備をすることを心得てもらいたい。 正当な理由なく講義を欠席した場合には単位を認めない。講義には万全の準備をして臨むこと。		
教科書	随時資料を作成する。		
参考文献及び指定図書	修士論文に関わる文献。		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ 環境情報学特別演習Ⅱ		

○基本情報		
授業の目的	修士論文を作成するために必要な事柄を学び、身に着けることを目的とする。 本講義は、環境情報学専攻のディプロマポリシーにおいて表記されている、「情報工学、建築学及び土木工学の基礎ならびに応用研究を推進する中で広い視野と高度な専門技術を発揮できる能力」、を身に着けるうえで、建築学、土木工学に通じるコンクリート工学の研究に関する応用的な知識を修得することを目的としている。	
授業の概要	様々な情報を集め、整理し、解析するだけではなく、解析結果をどのように社会に生かすかという理論の構築方法を学ぶ。そのため、実験や調査および社会における様々な立場の人間と会い、その思考やそれぞれが抱える課題について検討する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	宿題、授業における発表の準備を毎回欠かすことなくできる。 積極的に発言できる。		10点	10点
【知識・理解】	取り組む研究の背景、位置づけ、目的を理解している。		15点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	分かりやすい資料作成や発表ができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	目的を達成するような実験を実現できる。 必要に応じて研究内容を微調整できる。		15点	15点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
文献調査、実験、資料作成、すべてにおいて提出物および発表を行う。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。				

○その他
大学院に進学する以上研究者を志す者であると判断する。 研究とは社会の問題に気づき、それを解決する方法を模索し、提案することであると考える。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別研究（Environmental Information Engineering） 濱永 康仁	授業コード	M522107
学修内容				
1. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
2. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
3. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
4. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
5. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
6. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
7. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	
8. 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。				
予習 資料作成			約2時間	
復習 資料修正			約2時間	

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別研究（Environmental Information Engineering）	授業コード	M522107
		担当教員	濱永 康仁		
学修内容					
9. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
10. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
11. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
12. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
13. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
14. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
15. 修士論文作成					
修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。 また、それらに関する資料作成、成果の発表を行う。					
予習		資料作成			約2時間
復習		資料修正			約2時間
16. 総括					
全ての講義の総括を行う。					
予習					
復習					